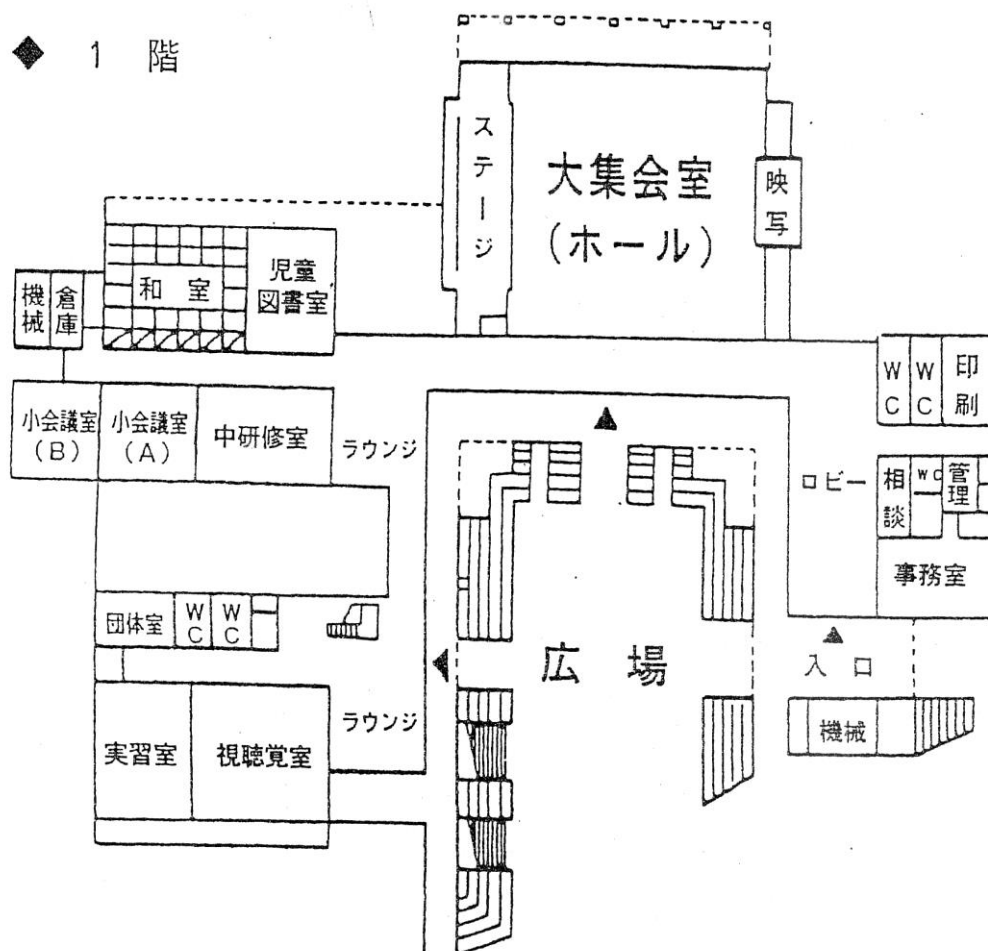


小 祿 南 公 民 館



利用施設のご案内

◆ 1 階



部 屋 名	収 容 人 数	用 途 (備 品)
ホ ー ル	300 人程度	講演会・演劇・映写会等ステージを使った発表会等 (テーブル・イス・白板・ピアノ)
視 聴 覚 室	30~40 人程度	学習会・映写会等 (テーブル・イス・白板・ステレオ・スクリーン・OHP 等)
中 研 修 室	20~36 人程度	集会・学習会等 (テーブル・イス・白板)
児童図書室	12 人程度	集会・学習会・読書活動等 (テーブル・イス・白板)
小会議室 A	12 人程度	集会・学習会等 (テーブル・イス・白板)
小会議室 B	12 人程度	集会・学習会等 (テーブル・イス・白板)
実 習 室	24 人程度	料理実習・その他の実習や会議等 (料理用器具・調理台・イス)
和 室	35 人程度	茶道・着付け・その他の学習等 (低テーブル・茶道器具・10 畳×3 間)
団体連絡室	11 人程度	集会・学習会等 (テーブル・イス)
ロ ビ ー ラウンジ		市民のいこいの場・待ち合わせ・談話コーナー等 (テーブル・イス)

I 小禄南公民館の沿革

建設の設計については、一般公募（競技設計）方式を採用し、昭和56年9月24日建設に着工、昭和57年3月31日に竣工した。

同施設は、旧小禄支所跡の丘陵地帯で小禄地区の南に位置し、その規模、設備等は当時最も進んだ近代的な公民館として、昭和57年5月14日開館した。

1982（昭和57）年4月1日	小禄南公民館の発足に伴い、主査 兼城賢真が発令された。
5月13日	小禄南公民館の開館式が行われた。
1986（昭和61）年4月1日	主事が公民館主事に職名変更された。
1989（平成元）年4月1日	主査 兼城賢真が配置替えにより、主査 伊元源治が発令された。
1990（平成2）年4月1日	主査が館長に職名変更された。
12月7日	第20回沖縄県公民館研究大会において優良公民館として表彰された。
1991（平成3）年4月1日	館長 伊元源治が配置替えにより、館長 前原信喜が発令された。
1992（平成4）年2月14日	第39回沖縄県生涯学習振興大会において優良公民館として表彰された。
1993（平成5）年2月28日	開館10周年記念式典及び祝賀会・記念誌が発刊された。
1994（平成6）年11月1日	第47回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。
1995（平成7）年10月1日	館長 前原信喜が配置替えにより、館長 中村英雄が発令された。
1996（平成8）年4月1日	公民館主事1減に伴い社会教育指導員1増
1998（平成10）年4月1日	館長 中村英雄が配置替えにより、館長 新里重雄が発令された。
2001（平成13）年4月1日	館長 新里重雄が配置替えにより、館長 阿波連寛が発令された。
2004（平成16）年4月1日	館長 阿波連寛退職により、館長 新里重雄が発令された。
2005（平成17）年4月1日	館長 新里重雄退職により、館長 新垣絹代が発令された。
	社会教育指導員1減
2007（平成19）年2月15日	那覇市小禄南公民館は沖縄県豊見城警察署長より感謝状を表彰された。
2007（平成19）年6月20日	うるく地域づくり連絡協議会（事務局小禄南公民館）創立十周年記念誌が発行された。
2007（平成19）年11月22日	第37回沖縄県公民館研究大会において館長新垣絹代が功労者表彰を受ける。
2008（平成20）年4月1日	館長 新垣絹代が配置替えにより、館長 比嘉勉が発令された。
2009（平成21）年4月1日	館長 比嘉勉が配置替えにより、館長 上原善英が発令された。
2012（平成24）年3月	「小禄の拝所」が発行された。
2012（平成24）年4月1日	館長 上原善英が配置替えにより、館長 島袋元治が発令された。
2014（平成26）年4月1日	館長 島袋元治が配置替えにより、館長 比嘉康裕が発令された。
2016（平成28）年4月1日	館長 比嘉康裕が配置替えにより、館長 上原昭則が発令された。
2017（平成29）年3月1日	第69回優良公民館として文部科学大臣表彰を受ける。
2018（平成30）年4月1日	館長 上原昭則が配置替えにより、館長 天久尊哉が発令された。
2019（平成31）年4月1日	館長 天久尊哉が配置替えにより、館長 上江田久美子が発令された。
2021（令和3）年4月1日	館長 上江田久美子が配置替えにより、館長 高良篤伸が発令された。

Ⅱ 令和3年度小緑南公民館事業目次

1 学習風景（写真）	33
2 成人一般対象事業	
〔1〕 市民講座	
◇今日からあなたも賢い消費者！	34
◇地域の魅力、再発見！小緑地域の歴史を知る～Oroku Historia～	35
◇那覇の彩り～小緑クンジー～	36
3 青少年対象事業	
〔1〕 青年講座	
◇SDGsを知り、これからの未来を創る	37
〔2〕 親子ふれあい教室	
◇～アロマ植物の香り～	38
〔3〕 少年教室	
◇子どもプログラミング入門教室	39
4 家庭教育事業	
〔1〕 家庭教育学級	
◇～伝えよう食事の大切さと楽しさ～	40
〔2〕 乳幼児学級	
◇～前期ぽっかぽからんど～ママ&ベビーリフレッシュ講座	41
◇～後期ぽっかぽからんど～ママ&ベビーリフレッシュ講座	42
5 地域連携事業	
〔1〕 地域学習支援講師派遣事業	
◇小緑中学校キャリア教育支援事業 「お仕事先生～職業人から学ぶ～」	43
◇小緑中学校キャリア教育支援事業 「プロジェクトOROKU」	44

1 学習風景



市民講座

「今日からあなたも賢い消費者！」

市民講座

「地域の魅力、再発見！小緑地域の歴史を知る
～Oroku Historia～」



青年講座

「SDG s を知り、これからの未来を創る」

親子ふれあい教室

「ZOOM講座 ～アロマ植物の香り～」



家庭教育学級

「ZOOM講座
～伝えよう食事の大切さと楽しさ～」



乳幼児学級

「ZOOM講座～前期ぽっかぽからんど～
ママ＆ベビーリフレッシュ講座」

2 成人一般対象事業

〔1〕市民講座

今日からあなたも賢い消費者！

趣 旨：本講座は、消費者を取り巻く詐欺やその手口対策を事前に学ぶことで、健全な消費生活を送ることのできる「賢い消費者」の育成を目指すものである。

期 間：令和3年7月3日（土）～17日（土）全3回

時 間：19：00～20：30

場 所：ZOOM講座のため、各ご自宅にて受講

対 象：那覇市在住・在勤・在学の18歳以上の人

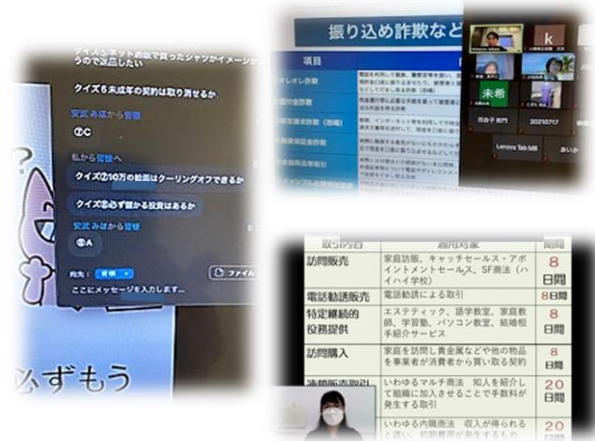
受講料：無料

定 員：先着25人

申込人数：13人（うち受講決定人数13人）

参加延べ人数：32人

講 師：仲宗根 京子（沖縄県消費生活センター 相談員）
佐々木 かおり（沖縄県消費生活センター 相談員）
高良 彦行（消費生活アドバイザー）



★★ 学習プログラム ★★

回数	日程	内 容	講 師	参加人数
1	7/3 (土)	「相談の多い消費者トラブルについて」 ・契約に関するクイズ	仲宗根 京子	10人
2	7/10 (土)	「社会に出る前・出た後に知っておきたいお金の話」 ・ワークショップ (自分のライフプランを考えてみる)	佐々木 かおり	9人
3	7/17 (土)	「インターネット利用について知っておきたいこと」 ・SNS利用等ネット上における新しい詐欺の手口と事例の紹介	高良 彦行	13人

【参加者の声】

- ・クイズ形式で最後にあったので分かりやすくよかった。
- ・儲け話のリスクを知らない人から誘いがある。「簡単に儲けられるうまい話はない」と答えたい。
- ・お金に関すること（年金納入、保険料納入も含む）は若い頃から、何度の頭に入れておく必要があります。私たちの時代はそんなことがあまりなかったような気がします。年金などは、年を取ってから切実です。
- ・安全な利用法を身に付けておけば、自分自身の視野も広がっていくのだということが、分かりました。「見えないメール等には、何もしない」ということを肝に銘じておきたいです。

【まとめ】

2022年4月から施行される改正民法により、成人年齢が18歳に引き下げられることから、公民館における18歳（高校3年生）からの主権者教育の充実を見据え、本講座を企画いたしました。昨今の新型コロナウイルスに便乗した詐欺をはじめ、多様化する悪質な消費者トラブルやその事例、そしてお金と人生設計について考えるワークショップを開設するなど、若者のこれから生きていくための力を育みうる学習内容を、開講前、そして各回講師の先生と打合せを重ねながら準備を進めてまいりました。

結果として本講座は幅広い年代の方にお申込みいただき、様々な意見が活発に飛び交う交流の場となりました。

地域の魅力、再発見！小祿地域の歴史を知る～Oroku Historia～

趣 旨：地域形成の歴史を捉えなおすことで、地域への愛着や関心を持ち、伝統や歴史を継承し得る人材を育成するとともに、小祿地域の魅力を市内外問わず広く伝えることを目的とする。

配信期間：令和3年11月29日（月）14時から12月20日（月）まで申込者のみ公開。

令和4年1月24日（月）から一般公開とする。（YouTubeにて動画配信）

撮影場所：小祿南公民館、田原公園、那覇市鏡水他

対 象：那覇市在住・在勤・在学の18歳以上の人

受 講 料：無料

定 員：上限なし

申込人数：109人（うち受講決定人数109人）

視聴回数：382回（令和4年3月31日時点）

講 師：古塚 達朗（那覇市人材育成支援センターまーいまいNaha）

高良 広輝（うるくの歴史と文化を語る会）



★★ 学習プログラム ★★

- ①小祿の成り立ち（15分）
- ②1970年～現代の小祿（15分）



【参加者の声】

- ・地域文化に触れる機会が中々ないので、このような講座が開かれたことに感謝しております。
- ・観たいときに聴講できる点がとても助かりました。公民館の運営時間帯に合わせて参加することが難しいため、動画で時間を問わず参加できる点が良かったです。
- ・オンラインはいつでもどこでもという利点があって、それが活かされていると思いました。
- ・他市町村からの移民なので、とても、参考になりました。これからもここ、小祿地区で過ごしていくにあたり、興味を持つきっかけになりました。ありがとうございました。
- ・もう少し広くまんべんなく取り扱うといいのではと個人的には感じました。とはいえ、なかなか他の地域ではこのような取り組みはなされていないことですし、大変画期的で良かったです。
- ・時間が短すぎると感じました。知りたい学びたい気持ちがあって申し込みしたので、1時間くらいの内容が欲しかった。
- ・15分×2は、短いと思う。せめて30分はほしい。
- ・話の内容自体はととても面白かったが、映像が分かりにくく残念に感じた。話者だけでなく、その場所や紹介している物等もしっかり映してほしかった。

【まとめ】

地域の歴史をアーカイブ化したいという思いからまず出発した本講座でしたが、100件を超えるお問い合わせをいただけたことから、市民の皆様の、歴史講座への関心の高さが伺えました。内容のボリュームや撮影の手法等については賛否がありましたが、公民館講座への参加のしやすさを考えると、今回は適切な内容だったのかなと感じております。

アンケートより、受講いただいた方の約8割が、初めて公民館講座を受講されたという結果が出ており、様々な世代の方に公民館講座を受講していただくという意味でも、YouTubeを使用した講座は非常に効果的であると感じました。今後も感染症の状況を見つつ、動画講座と対面講座等、それぞれの利点を勘案した上で、適切な形式での事業運営に努めてまいります。

※3月31日現在、受講生の方々から多数のご要望があり、講座で使用了動画はどなたでも見られるように一般公開しております。

那覇の彩り～小禄クンジー～

趣 旨：小禄クンジーを生んだ地域の成立ちや地域の良さを知り、先人の知恵や経験を通し、これからの生活の仕方や地域参加・サークル活動のきっかけをつくる。

配信期間：令和4年1月14日（金）14：00～2月25日（金）24：00

（その後、受講者の要望により3月25日（金）まで配信延長）

場 所：Y o u T u b eにて限定配信

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人 受講料：無料

定 員：なし 申込人数：73人（うち受講決定人数73人）

視聴回数：241回（令和4年3月25日現在）

講 師：古塚 達朗（那覇市人材育成支援センターまーいまいN a h a）

★★ 学習プログラム ★★

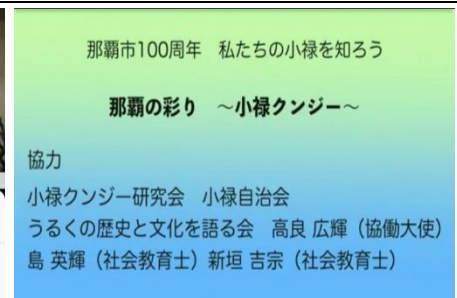
	内 容
動画配信 105分	市歌6番 講座の趣旨（3分） 小禄クンジーを生んだ地域の成立ち（講話100分） ・なぜ地域の歴史や文化を学ぶの ・小禄クンジーとの出会い ・小禄の産業を生んだ背景 ・小禄の歴史アラカルト ・産業としてのこれからの小禄クンジー アンケート等お知らせ（2分）



【市民講座】那覇市100周年 私たちの小禄を知ろう 那覇の彩り～小禄クンジー～



【市民講座】那覇市100周年 私たちの小禄を知ろう 那覇の彩り～小禄クンジー～



【参加者の声】

- ・クンジーについてもっと知りたい。映像で柄や工程を見たかった。、展示会など反物を実際に見てみたい。
- ・クンジーに関わって日が浅いが、これまで知らなかったことも多く勉強になった。クンジーを広く内外に知ってもらおう上でもよい取り組みだと思う。視聴期間限定配信はもったいない。多くの人に見てもらいたい。
- ・幅広い講話は地域の歴史、小禄への造詣、沖縄の魅力を沢山知る事ができた。良いものは継承される、その人にしか出来ないこと、良いものを極める、人々が支え合う精神が根本にありユイマール精神に繋がるという言葉や小禄の産業の背景、移民、教育熱心など興味深かった。地域の魅力を学び発信できたらいい。
- ・YouTube で学ぶことができた。テキストが欲しい。PC が苦手の人もあるので各字公民館で見れたら良い。
- ・沖縄に愛着が湧いてきた、多くの事を学び、私も地域の魅力を発信できるように努めたいと感じた。

【まとめ】

- ・動画収録後に内容や編集、記録の方法等を話し合い「クンジーが織られた地域の事が多岐にわたり示されている講話自体を映像記録することが大切」「地域に興味を持ち一人ひとりの関心のきっかけにする、結節点は受講者の自由が良い」「これからの研究会の活動や小禄クンジーに触れる機会への課題」等他市町村の社会教育士も加わり活発な意見と情報交換が出来た。広報についても地域の方々の協力が得られた。
- ・受講後、小禄クンジーに携わったご家族について、受講者から貴重なお話を直接伺う事ができた。「美しい織物」に気づき、地域の大切なものを残したいという2006年の講座は改めて素晴らしいと感じた。

3 青少年対象事業

〔1〕 青年講座

SDGsを知り、これからの未来を創る

趣 旨：「持続可能な社会」を実現するための国際目標であるSDGsについて、その内容や、企業や自治体の取組について学んだ上で、これからの社会を担う若者が、これからの社会のために何ができるのか、ということを考える契機とする。

期 間：令和3年12月11日（土）～12日（日）全2回

時 間：14：00～16：00

場 所：ZOOM講座のため、各自宅にて受講

対 象：那覇市在住・在勤・在学の18歳以上の入

受講料：無料

定 員：先着25人 申込人数：12人（うち受講決定人数9人）

参加延べ人数：9人

講 師：しんとすけ（お笑い芸人 オリジン・コーポレーション）

ベンビー（お笑い芸人 オリジン・コーポレーション）

玉城 直美（沖縄キリスト教学院大学 准教授）

島袋 純（琉球大学 教授）



★★ 学習プログラム ★★

回数	日 時	内 容	講 師	参加人数
1	12月11日 （土）	・受講者へのアンケート「SDGsに対するイメージ」 ・SDGsの理論解説 ・企業のCMからSDGsへの意識を捉えなおす ・漫才カルテット「SDGsマン」（漫才でSDGsを知る） ・企業によるSDGsへの取り組み・緩やかな事例共有	しんとすけ ベンビー 玉城 直美	5人
2	12月12日 （日）	・SDGsが目指すもの ・まちづくり・地域づくりの課題とSDGs ・身近な事例からSDGsを考える	島袋 純	4人

【参加者の声】

- ・（受講時の感想）講座のメンバーもさながら、いつものラジオ番組に参加している気分になりました。
- ・毎週ラジオを聴いていることもあり、より理解が深まりました。
- ・今後は、このような質の高い講座にもっと多くの市民が関心を持ってくれる事を期待しています！
- ・SDGsについては、10年前から取り組んでおりますが、言葉ばかりが先行して、きちんと理解されていない現状があります。是非、正しいSDGsの啓蒙に向けて、頑張っていただきたいと思います。

【まとめ】

若者へ向けたSDGsへの普及・啓発講座ということもあり、内容では漫才やCMを取り入れ、SNSの活用、高等学校への講座の参加呼びかけなど、これまで以上に講座の広報に力を入れましたが、結果として参加者が集まらず、少し残念に思います。今回はSDGsそのものを題材として取り上げましたが、SDGsはあくまでも課題解決の指標であること、そして日常のあらゆるところにSDGsが埋め込まれていることに気づくことが肝要であると感じております。

そのような意味も含めて、今後の事業にSDGsをどう落とし込めるか、ということを考える上で、今回の講座は公民館にとって非常に有意義なものとなりました。

〔２〕 親子ふれあい教室

～アロマ植物の香り～

趣 旨：身近な植物は先人の生活の知恵として生活に活かされている。コロナ禍で外出が制限される中、身近な自然を通して親子のコミュニケーションを深めより良い親子関係の形成のきっかけをつくる。

期 日：令和3年9月18日（土）

時 間：10：30～12：00（10：15～ZOOM入室）

場 所：自宅等WIFI環境のあるところ ※那覇市協働によるまちづくり協議会事務局から配信

対 象：那覇市在住・在勤・在学の小学生とその保護者でZOOMを使ったオンライン講座に参加できる人

受講料：無料

定 員：15組 申込人数6組（うち受講決定人数6組）

参加人数：6組（14人）

講 師：濱田 美樹（ボランティアサークル アロマの“わ” 主宰）

★★ 学習プログラム ★★

時間	内容
10：30～	開講式（3分） ・昔の人の生活の知恵と植物～月桃やシークァーサー～ ・精油をつくるのにどのくらいの植物が必要？ ・アロマを使って マスクに 虫よけに 介護施設での介護アロマについて ～お話の合間に質問やクイズがあります。親子で協力して答えよう～
12：00	閉講式（2分）



【参加者の声】

- ・夏休みの自由研究で月桃染めを行った。沖縄の植物についてもっと知りたい。
- ・講座終了後、兄弟で相談して「ユーカリアロマ」を選び、マスクスプレーを作った。スーツツとしてさわやかな気持ちになった。アウトプットの出来た講座でした。指のマッサージが面白かった。
- ・十分に香りが伝わりましたよ。
- ・介護施設でお花を植えようと考えていたので、香りのお花を植えようと思います。スタッフの皆さんも苗選びにご参加していただければ嬉しいです。

【まとめ】

- ・那覇市協働によるまちづくり協議会に講師や配信環境などについて相談。協議会事務局よりZOOM配信。
- ・アロマオイルの事前配布もなくZOOMで香りをどのように伝えるのかを講師と話し合う。事前にワークシートで好きな香りや香りについて知っている事、月桃など身近な植物のクイズなどの項目を載せた。また、当日は、月桃やオレンジ、シークァーサーの枝や実の準備をし身近な植物の観察等の興味を目指した。
- ・協議会のネットワークより協働大使への講座の案内や当日は配信ボランティアの方々の応援があった。講座後に協議会の会報誌や新聞に講座の様子が掲載された。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況次第であるが、身近な社会体験として介護施設との交流ができると感じた。

〔3〕 少年教室

子どもプログラミング入門教室

趣 旨：GIGAスクール構想、新学習指導要領におけるプログラミング教育の必修化など、教育機関において、子どもたちを取り巻く情報化の流れは急速に変化している。

本講座は、これからの情報社会を生きる子供たちの、「情報活用能力」の伸長を図り、また、モノづくりの喜びや楽しさを、年齢問わず仲間同士で共有し合う講座である。

期 日：令和4年1月22日（土）14：00～16：00

場 所：小禄南公民館 ホール

対 象：那覇市内在住・在学の小学3年生～6年生

受 講 料：無料（但し、保険料100円は自己負担）

定 員：先着10人

申込人数：10人（うち受講決定人数9人）

参加人数：9人

講 師：宮里 弥杉（シムネットワーク 代表）
宮城 賢人（講師助手）



★★ 学習プログラム ★★

①正多角形を、プログラムを使って描く

…「はじめに・基本操作」・「正方形をかく」

②背景の変更と音を加えてプログラミングにチャレンジ

…「背景を変えてみよう」・「音を追加しよう」

③ねこから逃げるプログラムを作る

…「はじめに・基本操作」・「ねこ・ねずみを動かす」「背景を変える、動きを止める」

【参加者の声】

- ・教え方がうまかった。両方とも。
- ・プログラミングのことをたくさん知れて今日ならったことをいつか作りたいです。
- ・ほかのゲームをつくりたいです。
- ・わかりやすく教えて下さってありがとうございます。私は四年で、三年のころにやったことありますが、星の形や四角形のやりかたは知らなかったです。そして、新しいことも学べて私はとてもよかったと思います。また、イベントをひらいてほしいです。今日は本当にありがとうございました。
- ・（保護者より）コロナ禍で子供たちの体験の機会が減っている中、貴重な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

【まとめ】

新型コロナの感染拡大が続く中で、感染対策をはじめ安全管理を徹底した上で実施に踏み切りました。打合せの段階で「もし教えたことと違うことをやりだしても、強く止めるようなことはしない」と共通の理解があり、子どもたちの中では、教わったことを活用しつつ、講座内容以外の様々なプログラムの作成に挑戦する様子も見受けられ、正に「子どもたちの情報活用能力の伸長」というプログラミング講座の本旨に添う講座運営ができたのではないかと手応えを感じております。

後日、講座の様子が地域のローカル紙に掲載され、地域の自治会から「自分たちも子どもを対象に、このような学びの場を提供できるイベントを段階的に企画していきたい」と相談がありました。本事業を継続的に展開していくことを念頭に、このような地域団体との連携も必要であると考えます。

4 家庭教育事業

〔1〕 家庭教育学級

～伝えよう食事の大切さと楽しさ～

趣 旨：子どもの健やかな成長に、保護者として日常の関わりの中で食の大切さや大事にしたい事を講師・参加者同士で話し合い、子どもと継続して食の大切さに取組むきっかけをつくる。

期 間：令和3年11月6日（土）～20日（土）全3回

時 間：10：30～12：00（ZOOM入室10：15～）

場 所：自宅等WIFI環境のあるところ ※沖縄県生涯学習センターから配信

対 象：那覇市在住・在勤・在学の小中学生の保護者や子育てに関心のある人

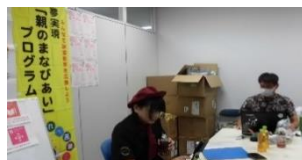
受講料：無料

定 員：15人（先着順） 申込人数：10人（うち受講決定人数10人） 参加延べ人数：21人

講 師：野原 長乃（野菜ソムリエ/子ども食堂こぼんち調理担当）、鈴木 貴絵（イタリアンシェフ/飲食経営コンサル/ナハ食育子ども食堂主宰）、新垣 慶子（沖大健康栄養学部管理栄養学科准教授/むつみふれあい広場）

★★ 学習プログラム ★★

回数	日程	内容	講師	参加人数
1	11月6日 (土)	・開講式 ・野菜ソムリエの伝えたい事 ～やってみよう！作ってみよう！食べてみよう！～ ・次回のお知らせ	野原長乃	7
2	11月13日 (土)	・前回の振り返り ・イタリアンシェフの「子ども食堂」での取組み ～食事は心と体をつくる～ ・次回のお知らせ	鈴木貴絵	6
3	11月20日 (土)	・前回の振り返り ・子どもの自立にむけて ～伝統食・生活の知恵～ ・閉講式	新垣慶子	8



【参加者の声】

- ・食という生活の根源にあるテーマで社会課題も多く散財する中で専門家や地域の方々の考えや思いを共有できる場として講座が成り立っていることに大変意義ある。地域で子どもを育てるというテーマに非常に感銘を受けています。学ぶことが沢山ある大変素敵な講座で素晴らしい方々に出会えたことに感謝します。私でも何か出来るのか、しっかり考えてみようと思います。子ども食堂に参加するための連絡先が知りたい。
- ・好きな食べ物は温かい思い出と楽しさとともに形成されることに共感しました。SDGs視点、食育視点がとても理想的かつ現実を見据えられたうえでの活動でとても参考になりました。
- ・YouTube 動画は豊かな食を感じるホテルのスクランブルエッグ、子ども達が調理できたら生きる糧に！

【まとめ】

- ・受講者より子ども食堂にミニブーケのプレゼントを行った、マナーを学びたい、大学で他の講師の取組みを知らせたい等、受講後も受講生・講師・指導員がそれぞれに交流ができた。地域新聞に講座の様子が載る。
- ・より良い子育てを家庭力と地域力の向上と捉え令和元年度より小学校区まちづくり協議会、子どもの居場所サポート系、県との関係性が醸成されている。県に小禄地域の方より家庭教育支援アドバイザー養成講座への問合せがあった。

〔２〕 乳幼児学級

～前期ぽっかぽからんど～ ママ&ベビーリフレッシュ講座

趣 旨：コロナ禍でもアクティブに子育てができるようにZ o o mを利用してママ&ヨガやリフレッシュ・スキップ等を体験し講師・他の受講生と交流し生き生きとした子育てのきっかけをつくる。

期 間：令和3年8月16日（月）～19日（木）全2回

時 間：10：30～12：00（ZOOM入室10：15～）

場 所：自宅等W I - F I 環境のあるところ※那覇市人材育成支援センターまーいまいーN a h a から配信

対 象：那覇市在住・在勤の人で子の月齢が1か月から12か月までの親子でZOOMを使ったオンライン講座に参加できる人

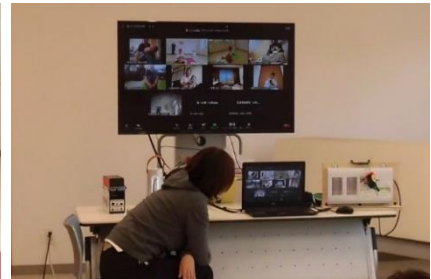
受講料：無料 定員：10組（先着順） 申込人数：10組（うち受講決定人数10組）

参加延べ人数：30人（子含む）

講 師：知念 康代（日本マタニティフィットネス協会インストラクター/沖縄県立看護大学非常勤講師/小禄南公民館「ママヨガサークル」講師/沖縄県家庭教育支援アドバイザー）

★★ 学習プログラム ★★

回数	日程	講座内容	備考	参加人数
1	8月16日 (月)	ママ&ベビーヨガ ～産後の体型改善～ ・ベビービクス（赤ちゃん体操+マッサージ） ・ママヨガ ♡合間にユンタクタイム：子育てについて話そう	前期開講式 振返りとお知らせ	16
2	8月19日 (木)	ママ&ベビーヨガ ～産後の体型改善～ ・ベビーマッサージ ・ママヨガ ♡ユンタク子育てよもやま話	前回の振返り 前期閉講式	14



【参加者の声】

- ・一人ひとりに声掛けがあり緊張がほぐれた。家にも皆さんと繋がり、話したり聞いたりできてリフレッシュできた。
- ・ベビーマッサージだけと思っていたが、ママ向けのストレッチがあって良かった。
- ・細かい動作の説明がありわかりやすかった。オンラインなので気兼ねなくできた。
- ・コロナでも講座を受講できてよかった、次回も受けたい。

【まとめ】

- ・コロナ禍、講師より、子育て中のママが気になると講座について相談があった。Z o o mによる運動系講座は初めてであったが、講師、助手とカメラワーク、受講者の動きや様子、プログラムを話し合いながら進行。
- ・2日目よりP Cを利用してカメラを2台にする等工夫が出来た。これまでの講師との関係性が活かされた講座になった。スタッフの安全対策として空気清浄機・光殺菌板等の設置も行う。
- ・一人ひとりの動きや様子を見ながらの講座であったので人数的に良かった。

～後期ぽっかぽからんど～ ママ&ベビーリフレッシュ講座

趣 旨: 前期同様、コロナ禍でもアクティブに子育てができるようにZOOMを利用してママ&ヨガを体験講師・他の受講生と育児中の母親の不調や子どもの発育の不安について共有し、リフレッシュやスキンシップについて学び、いきいきとした子育てのきっかけをつくる。

期 間: 令和3年11月25日(木)～29日(月) 全2回

時 間: 10:30～12:00 (ZOOM入室10:15～)

場 所: 自宅等WIFI環境のあるところ※那覇市人材育成支援センターまーいまいーNahaから配信

対 象: 那覇市在住・在勤の人で子の月齢が1か月から12か月までの親子でZOOMを使ったオンライン講座に参加できる人

受講料: 無料 定員: 10組(先着順) 申込人数: 10組(うち受講決定人数10組)

参加延べ人数: 32人(子含む)

講 師: 知念 康代(日本マタニティフィットネス協会インストラクター/沖縄県立看護大学非常勤講師/小禄南公民館「ママヨガサークル」講師/沖縄県家庭教育支援アドバイザー)

★★ 学習プログラム ★★

回数	日程	講座内容	備考	参加人数
1	11月25日 (木)	ママ&ベビーヨガ ～産後の体型改善～ ・ベビービクス(赤ちゃん体操+マッサージ) ・ママヨガ ♡合間にユンタクタイム:子育てについて話そう	後期開講式 振返りとお知らせ	18
2	11月29日 (月)	ママ&ベビーヨガ ～産後の体型改善～ ・ベビーマッサージ ・ママヨガ ♡ユンタク子育てよもやま話	前回の振返り 後期閉講式	14



【参加者の声】

- ・一人でピラティスを行っていたが、皆さんと一緒にできてよかった。
- ・以前より知りたかった親子で同時に取り組める運動遊びが豊富であった。
- ・コロナも落ち着いてきたので、対面でもやって欲しい。
- ・画面からも体の動かし方がわかりやすく、息子とのコミュニケーションに活かしたい。
- ・オンライン講座は異動時間を気にせず、赤ちゃんの機嫌に合わせて参加しやすかった。
- ・習った動きを夫にはなしたら、子どもと一緒に運動していた。

【まとめ】

- ・前期同様、安全対策を行いZOOM講座。ニワトリとキノコの帽子のお二人はご夫妻で自然な雰囲気で開催を進行。それぞれが積極的に運営に関わり役割分担が出来たことも成果の一つである。教材の肌色の違うお人形を使うなどの工夫をし、子育てとSDGsの視点や夫や男性の保護者の講座参加について伝えることが出来た。
- ・中断しているママヨガサークル活動や子育て中の親子の交流や対面講座について、他館と情報共有したい。

5 地域連携事業

〔1〕地域学習支援講師派遣事業

小祿中学校キャリア教育支援事業 「お仕事先生～職業人から学ぶ～」

趣 旨：社会人の進路講話を聞くことで、上級学校への進路決定や職業について学び、キャリア教育の一環として、中学生に自分の進路選択や、職業について考える機会とする。

期 日：令和3年6月25日（金）13：30～15：30

場 所：小祿中学校

対 象：小祿中学校2年生8クラス

参加人数：256人

講 師：又吉 盛太（那覇市小祿南公民館 社会教育指導員）

★★ 学習プログラム ★★

①15分講話

- ・進学、職業選択や職業について
- ・社会人として、「今何をしたほうがいいのか」
- ・コロナ禍で仕事がどのように変化しているのか、どのような工夫をしているのか

②質疑応答



【参加者の声】

- ・まだ将来の夢は決まっていないけど、笑顔でいられるような仕事につきたいと思いました。
- ・人と人のつながりの大切さ、笑顔をつくってお仕事することで分かる仕事の楽しさが大事なことだと思いました。私も一つ一つの経験を大切にしながら、自分がしたいお仕事をしていこうと思います。
- ・今、インターネットが普及して、面と面を合わせて関わり合うことが少なくなってきた時代になっていて、同じ趣味などでつながれる機会をもってくださいすることはとても素晴らしいことだと分かりました。
- ・私は、いつも将来＝仕事とばかり考えていましたが、どんな人になりたいか考えることが増えました。
- ・小祿南公民館の仕事内容の話を聞いて、小祿南公民館はとても楽しい所なんだなと思って、今度友達と小祿南公民館に行っているんなことをしてみたいと思いました。

【まとめ】

例年であれば「地域講師派遣事業」として、外部より講師の先生をお招きし、実施するものでしたが、地域の学生に公民館を知って欲しいということと、長く社会人として勤務されている方々の他に、「社会人になったばかりの若者」の話を聞く機会があると、より将来や職業のことを身近に感じるができるのではないかと事業担当の思惑もあり、公民館より社会人2年目の職員が当事業の講師を行うに至りました。

「公民館があることは知っているけど、公民館が何をしているのか分からない」との意見が多数あり、今回の事業が、若年層の公民館への認知度を高めるきっかけになったのではないかと感じました。

そして何より、公民館が若者のキャリア形成にあたって、生涯にわたり手助けができる場所である、ということを伝えられたと確信しており、今後も学校等教育機関と連携したキャリア教育支援事業の充実に努めてまいります。

小祿中学校キャリア教育支援事業 「プロジェクトOROKU」

趣 旨：小祿中学校3年生を対象に生徒の能動的な学習に取り組む機会として実施。地域の企業(団体)の協力を得て、生徒に課題を出し、その課題をチーム(グループ)で解決していく。今年もテーマは「困った」を、「ハッピー」に！中学生の持っている力を活用させ、仲間と協力して解決の道筋を模索する中で、基礎的・汎用的能力(人間関係形成・社会形成能力・課題対応能力)の向上を目的とする。

期 間：令和3年9月14日(火)～10月8日(金) 全3回

時 間：13:30～15:30

場 所：小祿中学校

対 象：小祿中学校3年生4クラス

参加延べ人数：250人

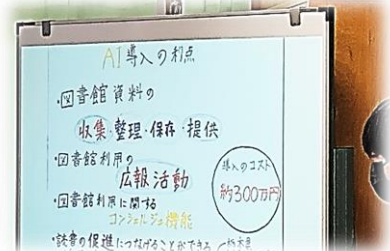
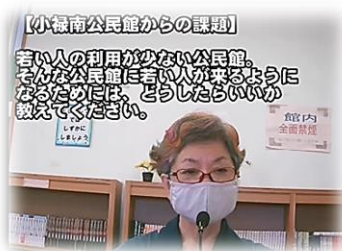
講 師：大城 喜江子(浦添市森の子児童センター)

平良 元輝(那覇市立繁多川図書館)



★★ 学習プログラム ★★

回 数	日 程	内 容
1	9月14日 (火)	・日程説明・公民館図書館紹介・講師紹介 ・ミッション提示(新型コロナウイルス感染症対策のため、動画にて行いました) ・提示されたミッションについてグループで考える(中間発表に向けたリサーチ・準備)
2	9月24日 (金)	・中間発表 ・各グループから発表グループへ質疑応答・アドバイス ・講師からのアドバイス ・改善点への取り組み ・公民館・図書館への質問(最終発表に向けたリサーチ・準備)
3	10月8日 (金)	・最終発表 ・各グループから発表グループへ質疑応答・アドバイス ・講師からの全体的な感想 ・PBL(課題解決)まとめ ・講師へのお礼



【学校からの学習報告】

この取り組みを通して、生徒たちは提示された課題に真剣に向き合い、課題解決に向けて盛んに、知恵やアイデアを出し合っていました。グループで協力し解決の糸口を見つけ出すことができた取り組みは、生徒たちの成長につながったと感じられました。生徒の感想にも「やって良かった」との意見が多くありました。

【まとめ】

公民館や図書館を一企業とみなし、その企業が抱える問題について、学生側の立場から解決の糸口を探るのが趣旨の本事業でしたが、講師側から提起した「那覇市立図書館、公民館に中学生や若い年代の利用者を増やすにはどうすればいいだろうか？」という課題に対し、SNSを使った地域発信の仕組み等、若者らしい意見の中に、公民館として運用していくべき取組みも多々あり、そうした若者の発想を取り入れ、実際活動に移行した際に公民館として支援できるような体制がやはり必要であると感じております。

公民館としても学び多い事業となったことから、今後とも学校と連携し継続して取り組み、学生から出た意見を事業に反映させられるように取り組んでまいります。